ひとりぼっち。
「したくもない一人遊びなんて惨めです」
2013(前半).830×830mm ミクストメディア

研究生１年目、24才。
今までの作品に違和感を感じていました。着飾ってはいないだろうか。嘘をついてはいないだろうか。
もっと奥深く、私の内側に隠したものを描くべきではないか。だから、私は私と丁寧に向き合おうと思ったのです。
手首を切った私、ネクタイで首をつってみた私、家を出た私、寂しい私、全部と向き合おうと思いました。
静かに、でもごまかさずに、寂しい、愛して欲しい、を描こうと試みました。
それらの思いは家族という窮屈な仕切りの中で生まれ、幼少期から引きずっているものでした。
その初めの作品です。背中に人形を括りつけていますが、相手をして欲しいのは綿の塊なんかではありません。
寂しいと言えずに、じっと耐えながら立つのです。小さな足で立つのです。

さようなら
「お父さんが私を捨てた日」
2013(後半).880×910mm ミクストメディア

雨の中、傘を落とし、裸足で濡れているこの子を父親は捨てました。
どうにもならない事がある。そう思うと憎しみで体が震え、脱力していきました。
何も感じないようにしよう。彼女は今を捨て、ただ前を見つめています。